

介護保険システム等標準化検討会 合同ワーキングチーム

第3回議事概要

日時：令和4年10月14日（金）13:30～14:40

場所：日本コンピューター株式会社 東京本社セミナールームA・B 及び WEB 会議

出欠（敬称略）：

（構成員）

出席	生田 正幸	関西学院大学大学院 人間福祉研究科 講師（非常勤）
出席	後藤 省二	株式会社地域情報化研究所 代表取締役社長
出席	峯 光平	川口市福祉部介護保険課 主事
出席	大塚 薫	川口市福祉部介護保険課 主事
出席	佐藤 博之	川口市福祉部介護保険課 主査
出席	谷萩 賢治	板橋区健康生きがい部介護保険課 資格保険料係長
出席	蘭 博樹	川崎市健康福祉局長寿社会部介護保険課 係長
出席	関 大介	川崎市健康福祉局長寿社会部介護保険課 係長
出席	石黒 慶	川崎市健康福祉局長寿社会部介護保険課 主事
出席	鷹野 駿	甲府市福祉保健部保険経営室介護保険課 主事
出席	深澤 海結	甲府市福祉保健部保険経営室介護保険課 主事（代理出席）
出席	萩原 崇史	甲府市福祉保健部保険経営室介護保険課 主事
出席	森山 真由美	出雲市健康福祉部高齢者福祉課 主任
出席	美谷 知彦	出雲市健康福祉部高齢者福祉課 主任
出席	桑本 英明	出雲市健康福祉部高齢者福祉課 係長

（オブザーバー）

欠席	伊藤 豪一	デジタル庁 プロジェクトマネージャー
欠席	前田 みゆき	デジタル庁 プロジェクトマネージャー
出席	橋本 泰明	デジタル庁 地方業務システム標準化エキスパート
出席	與那嶺 紗綾	デジタル庁 地方業務システム標準化エキスパート
出席	丸尾 豊	デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
出席	水村 将樹	デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
出席	中島 教太	デジタル庁統括官付参事官付
出席	羽田 翔	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 理事官
出席	巢瀬 博臣	厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室 室長補佐
欠席	島添 悟亨	厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室 室長補佐 保険局保険課 老健局介護保険計画課 社会・援護局障害福祉部企画課 併任
欠席	渡辺 駿	厚生労働省老健局介護保険計画課 課長補佐
欠席	新井 敬大	厚生労働省老健局介護保険計画課 企画法令係長
出席	中村 美咲	厚生労働省老健局介護保険計画課
欠席	野沢 雄大	厚生労働省老健局介護保険計画課

【議事次第】

1. 開会
2. 標準仕様書【第2.1版】案の検討
3. その他

【議事概要】

○構成員意見

- ・地方公共団体情報システム標準化基本方針の「2.2 地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化の目標－(5)標準準拠システムへの円滑な移行とトータルデザインの実現」に「③ 標準仕様書において標準化すべきであるがされていない機能や過剰な機能等の検証・整理や、システム連携に関する効率的な検証環境の準備を進める。」とあり、又、デジタル庁が公表している「地方公共団体の基幹業務システムの標準化のために検討すべき点について」では、「過剰な機能については実装必須機能から標準オプション機能への変更に限定して、年内を目途に集中的に点検を行う。」と記されている。これらの内容について、標準仕様書の策定にあたって地方公共団体への意見照会を経ていること、又、各自治体で進められているFit&Gapでは実装区分も踏まえた精査が行われていることから、年内を目途に集中的な点検が行われるとしても、不用意に変更されることで自治体は混乱する可能性が考えられるが、デジタル庁としてどのように取り込まれる想定なのか、方針を確認したい。

⇒（デジタル庁）標準仕様書は各業務の検討会にて検討し議論されたものであり、全国意見照会を経て作成されているという経緯は認識している。一方で、8月末にすべての標準仕様書が策定された中で、ベンダからの意見として実装必須機能、及び標準オプション機能の分類分けに疑義があるとも聞いている。検討会等では、標準オプション機能とした場合、標準準拠システムに必要な機能が実装されるか分からないという自治体側の不安があるため、実装必須機能としたほうがよいのではないかという議論が行われ、実装区分が整理されてきた。しかし、実装必須機能とした場合、指定都市から町村までのすべての自治体で機能が実装されることになるため、コストの割高に繋がってしまうことも懸念されている。具体的な方針については検討中であるが、ベンダ等と意見交換を行いつつ、自治体が持つ不安感も解きほぐしながら、実装必須機能や標準オプション機能の集中的な点検を行うことを考えている。結果的に実装区分を見直す際には、自治体やベンダへ早めに情報提供したいと考えている。

以 上